

岐阜県で回収された死亡野鳥における鳥インフルエンザウイルスの検出に伴う
野鳥緊急調査チームの調査の結果について
(H26.12.26 14:00)

岐阜県可児(かに)市において、12月20日にオシドリの死体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出されたことを受け、12月23日から25日にかけて野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおりその結果をお知らせします。

1 野鳥緊急調査チーム調査結果

- ・調査期間：12月23日(火)～25日(木)
- ・調査場所：岐阜県可児市の回収地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内(渡り鳥の飛来地等の計16地点)
- ・調査内容：現地状況把握(鳥類の生息状況調査、死亡野鳥調査、異常個体の有無)、現地指導
- ・調査結果：野鳥の大量死などの異常は認められなかった

(参考)

観察された鳥類 59種

うち、リスク種1 5種(オシドリ、キンクロハジロ等)

リスク種2 8種(マガモ、オナガガモ、ホシハジロ等)

リスク種3 12種(コガモ、カルガモ、カワウ等)

*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種等をリスク種に設定(最もリスクが高いのがリスク種1)

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、岐阜県及び愛知県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成26年12月26日(金)

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

課 長：中島 慶二 (内線6460)

企 画 官：堀内 洋 (内線6470)

専 門 官：根上 泰子 (内線6676)

中部地方環境事務所野生生物課

直 通：052-955-2139

課 長：常富 豊

課長補佐：遠藤 稔

担 当：齋藤 佑介

秋本 紘子